

亘理町立荒浜中学校

校長名：清野 和夫

学級数：5

生徒数：104

教職員数：16

1 東日本大震災発生直後の状況

地震2：46PM, 津波3：50PM。

地震発生から津波までタイムラグが1時間。その間、人々は日常の生活に戻った。ひたひたと津波が近づいている事を誰も予想する人はいなかった。

先に避難した人が屋上から巨大津波を発見した。到来までの数分間、地上にいる人々に「避難だ」と絶叫の声。その後、荒浜中学校に避難した500名が信じられない光景を目撃した。



【荒浜中学校の屋上からの光景】

避難生活は3日間。荒浜中が避難所指定ではないので、暖房設備と非常用物品は何もなかった。各地区区長さんと連携し以下のことを決定。
(1) 対策本部の設立 ※ 普段の関係が大切
(2) 人数確認と部屋割
(3) 救出の際の順番 ※ 秩序のある生活実現
飲料水は屋上のタンクより、暖房はカーテン、新聞紙とゴミ袋を活用、トイレの水は海水を使用した。

2 被害の状況

人的な被害なし。当日は卒業式、式は終了して生徒全員が放課。安否について確認まで心中穏やかではなかった。救出後の4日目に、亘理中学校のパソコンを借りてメール配信を復活。2日間で全員の安否確認ができた。敬虔な安堵を得た。

物的な被害は、校舎一階部全壊。耐火金庫等すべて流出、文書やパソコン機器は壊滅状態。自家用車は数キロメートルにわたり流失した。

3 学校再開に向けて

(1) 3月14日(月)職員会議(町教育委員会)

- ① 生徒の安否確認の方法
- ② 被災状況確認と文書等運び出し方法
- ③ 今後の見通し(車とガソリンなし)

(2) 3月23日(水)職員会議(亘理中)

- ① 修了式 3月30日(水)亘理中学校
- ② 始業式 4月25日(月)場所等は未定
入学式 4月26日(火) //

(3) 4月1日(金)職員会議(逢隈中)

- ① 始業式、入学式の内容と会場
- ② 教室、教科書、制服、靴等の準備対応

(4) 4月12日(火)職員室設置(逢隈中)

- ① 教室の机いす等の確保
- ② 電話等の連絡設備の設置に向けて
- ③ 文部科学省サイトに支援の依頼開始

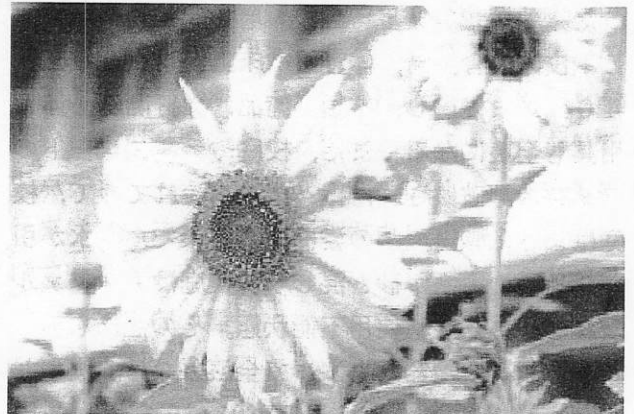
(5) 4月22日(金)保護者説明会(逢隈中)

(6) 4月25日(月)始業式(逢隈中)

4 現状と課題及び校長としての決意

支援は118件の個人と団体より継続して行われている。荒浜地区のがれき処理は自衛隊により5月中に、荒浜中学校のがれきは仙台大学や全国のボランティアにより6月中に見事に処理された。

現在は逢隈中学校を間借りして教育活動を展開しているが、教職員は「今」と「ここ」を大切に、生き抜くための教育の実現を図っている。必ずや5年、10年先に新しい町と学校の力強い復興を確信しながら、日々の実践を進めている。



荒浜中学校の校庭に「友情」のヒマワリが咲く

【愛知県半田市立成岩中学校より寄贈された種】